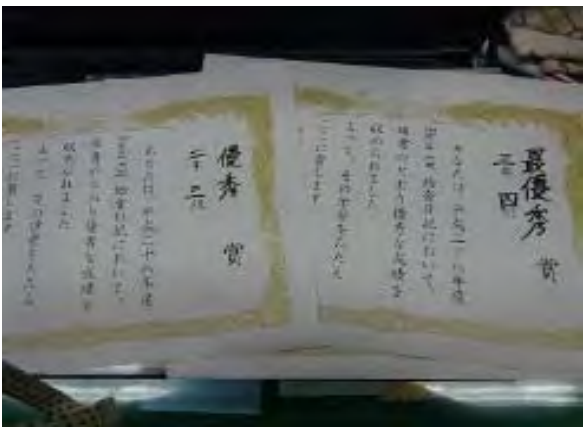


「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名	水戸市
取組の名称	Best of 給食日記 の開催
取組内容	本校では、各専門委員会で企画を考え、実施していますが、これは給食委員会の生徒が中心となって考えた企画です。給食の献立の感想や、給食時の会話などについて、各学級で日記風にまとめました。給食委員会では、提出してもらった給食日記の内容を読み、賞を決定しました。 内容:給食時のできごとを日記にする (給食センターの調理員さんへの感謝、給食のおいしさ、栄養、マナー、給食時の会話などについて) 対象生徒:全校生徒361名(提出は各学級1枚) 募集期間:毎週月曜日、金曜日 集計:7月4日(月)委員会の時間 最優秀賞、優秀賞、ユーモア賞などを決定 後日、給食時に放送を行い、入賞者を発表 ＜給食日記の内容例＞ 「今日のカレーには野菜がたっぷり入っていて、おいしかったです。これから暑くなりますが、夏野菜をしっかり食べ、元気に過ごしたいです。」 「席替え後初めての給食だったこともあって、話が盛り上がりました。」 「今日も栄養たっぷりのバランスの良い食事でした。いつもおいしい給食をありがとうございます。」 

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名	土浦市(第一学校給食センター・第二学校給食センター)
取組の名称	「土浦をたべようメニュー」の実施
取組内容	市内幼稚園、小中学校を対象に、土浦市で採れた野菜を取り入れた「土浦をたべようメニュー」を実施しました。 実施当日には、放送資料を配布し、土浦市で採れる野菜について伝えました。また、地域との連携をとり、「顔の見える野菜」として、その月に使用する土浦産野菜の生産者の名前、写真、地域名、使用する献立を記載した掲示物を各学校へ配布し、児童・生徒の関心を高め、感謝の気持ちをもちながら給食を楽しめるように伝えました。 【対象者】 市内幼稚園、小中学生 【献立】 ○ご飯 ○牛乳 ○焼鯖のねぎ味噌かけ ○土浦じゃがいものカレーそぼろ煮 ○ごぼうとみつばのサラダ(ごまクリーミードレッシング) 【土浦産野菜について】 使用野菜…ご飯、長ねぎ、ごぼう、三つ葉、じゃがいも ～じゃがいも～ 土浦市のじゃがいもは、6月から7月に収穫されます。品種は男爵で、色が白く料理をするとホクホクしているのが特徴です。6月は、煮物、サラダ、スープなどいろいろな料理に使いました。



「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名	古河市
取組の名称	完食の日の実施
取組内容	古河第二小学校(全校児童425人)と古河第一中学校(全校生徒456人)では月に一日、食育の取り組みとして学校給食の完食を目指す日を設定し(古河第二小学校”スッカラカンの日”・古河第一中学校”給食完食デー”)給食残渣の削減を目指すとともに、食物の大切さを理解させ、給食に係る人への感謝の気持ちを育んでいます。 古河第一中学校では、給食委員会生徒を中心とし食前の挨拶の前に、食育を考えるスピーチを行い、そのスピーチ原稿を給食配膳室前に掲示し完食を呼びかけました。その活動成果として、スピーチ実施後の調査では、全校生徒の73%が完食することができおり、古河第二小学校においても完食の日の残渣率は4.9%と残渣の大幅な削減(平均18.4%)が達成されました。

